

また米軍ヘリ部品が落下 なの!? 政府「飛行停止は求めない」 普天間は今すぐ閉鎖を

また、米軍ヘリの部品落下事故が起きました。沖縄・宜野湾市の米軍普天間基地所属のCH53E大型輸送ヘリが、重さ約1キロの窓を沖縄本島東海岸沖8キロで落下させたのです。発生から2日後に、沖縄防衛局が県と関係自治体に連絡したことから事故が判明しました。

同型ヘリは以前から老朽化が指摘されており、17年10月に東村の民間地に不時着・炎上、同年12月に宜野湾市の保育園へ部品落下、1週間足らず後に同市内の小学校へ窓枠落下、今年6月に浦添市の中学校のテニスコートへ部品落下など、重大事故を繰り返しています。

問題は、これほどの事故多発にもかかわらず飛行が継続していること、今回の事故発生から通報まで2日もかかったこと、岩屋毅防衛相（当時）が「飛行停止を求める考えはない」と表明したことです。



普天間基地所属機による事故140回超

※回数は1972年～2019年6月まで

- [2016年]
- 12月13日 MV22オスプレイが名護市沿岸に墜落。普天間基地に胴体着陸
- [2017年]
- 1月11日 CH53ヘリが着陸時に前脚降着装置に不具合
- 1月20日 AH-1Zヘリが伊計島の農道に不時着
- 6月1日 CH53ヘリが久米島空港に緊急着陸
- 6月6日 MV22オスプレイが鹿児島県奄美空港に緊急着陸
- 8月5日 MV22オスプレイがオーストラリア沖で墜落。乗員3人死亡
- 8月29日 MV22オスプレイが大分空港に緊急着陸
- 9月29日 MV22オスプレイが新石垣空港に緊急着陸
- 10月11日 CH53ヘリが東村高樓牧場に不時着・炎上
- 12月7日 宜野湾市・緑ヶ丘保育園の屋根に米軍ヘリの部品が落下
- 12月13日 普天間第二小学校校庭にCH53ヘリの窓が落下
- [2018年]
- 1月6日 UH-1Yヘリがうるま市伊計島の浜辺に緊急着陸
- 1月8日 AH-1Zヘリが読谷村内に緊急着陸
- 1月23日 AH-1Zヘリが渡名喜村内のヘリパッドに緊急着陸
- 2月8日 MV22オスプレイの部品が伊計島海岸に漂着
- 8月14日 MV22オスプレイが鹿児島県奄美空港に緊急着陸
- 9月5日 UH-1Yヘリが久米島空港に緊急着陸
- 10月25日 MV22オスプレイが奄美空港に緊急着陸
- [2019年]
- 3月27日 MV22オスプレイが鹿児島県沖永良部空港に緊急着陸
- 4月1日 MV22オスプレイが大阪の伊丹空港に緊急着陸
- 6月4日 浦添市の浦西中学校のテニスコートに米軍ヘリH53Eの部品が落下

米軍特権の解消は求めず？ 辺野古新基地建設は中止を！

日米地位協定に阻まれ、日本は基地への立ち入り調査もできません。航空法特例法により、米軍機は安全確保義務を除外されています。

日本政府はこれらの問題を解決しようとはせず、「普天間基地の危険性除去」を口実に、名護市辺野古の海を埋め立て、新基地建設を強行しています。しかし予定地には軟弱地盤が広がり、改良工事の費用も工期もめどが立っていません。県試算で最低13年ですが、その間県民の命を危険にさらすつもりでしょうか。しかも新基地が完成したら、そこを拠点にヘリやオスプレイが県内中で危険を振りまくこととなります。

沖縄県議会は、普天間基地の即時運用停止と閉鎖・撤去、日米地位協定の抜本改定、航空法特例法廃止を全会一致で求めています。普天間基地は「移設」でなく即時閉鎖を—日本政府はこの民意に従うべきです。

新基地建設反対の署名にご協力を

日本平和委員会

2019年9月発行
一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです
<http://j-peace.org/>
東京都港区芝1-4-9平和会館4階
TEL03-3451-6377 FAX03-3451-6277